

色づく秋の訪れとともに、白川茶の風味も深まりました



ふるさと茶屋情報誌
2010 秋号
vol.34

白川の風

厳しかった残暑もようやく過ぎ去り秋の気配も感じられるようになりました。今年も異常な猛暑・豪雨などが各地に災害をもたらした大変な季節でもあったと思います。被害に遭われた方には心よりお見舞いを申し上げます。ますぶち園は、どんな環境の中でもいつもと変わらずお客様への安心・安全を心がけ、よりよい商品・サービスの提供に努めてまいります。秋の気配も日ごとに深まり、お茶の旨みも増してくる季節です。ますぶち園の熟成銘茶でさゆやかな秋のひとときをお過ごしください。

茶畑日記

夏から秋に、来年の新茶のために大切な茶畑の手入れ

7月の二番茶が終わると、今年のお茶の生産は終了です。しかし茶農家に休みはなく、すぐに来年に向けての茶畑の手入れを行います。今年は今までにない猛暑日と少雨が続き、比較的暑さに強い茶樹でも負担が多く、場所によっては樹勢の悪いところもありましたが、今のところ頑張っ成長しています。そのような中、肥料散布や株間のすそ刈りが行なわれました。



秋肥の散布

雑草は猛暑も関係なくどんどん成長していきます。少しでも茶樹が成長しやすいように手作業で取り除いていきます。



広い茶畑のすそ刈り

いろいろな作業の中で、どの作業も根気と体力が必要で、特に大変なのは茶畑全体の草取りと草刈りです。日当たりのよいテラスでの作業は、陽射しを直接受けるため熱中症にならないようにしっかりと防備し、水分補給は欠かせませんでした。私たちは暑いからと日陰で休んだり水分をとったりできますが、茶樹は暑さに耐え自然に任せるままです。少しでも茶樹に負担がかからないよう生育を見ながら管理していきます。今年のような特別に暑い夏の作業も、お陰さまで全員の協力で乗り切ることができました。引き続き、良質で安心なお茶づくりを頑張っ、てまいります。

白川町も時代の流れとともに進化!

9月1日、昨年から工事が進められてきたケーブルテレビの本運用が始まりました。白川町は周りを山で囲まれておりテレビの電波が届かない地域のため、ほとんどの家庭でケーブルテレビのお世話になります。テレビを新しく買い換えたりと費用もかかりますが、きれいな映像でテレビを見ることができるようになりました。これに合わせて、行政からのお知らせ放送が流れる「防災無線受信機」も「告知放送端末」へと新しく変わりました。ケーブルテレビを利用してのお知らせ放送が流れるため、とても聞き取りやすくなりました。

長い間お世話になりました



(防災無線受信機)



(告知放送端末)